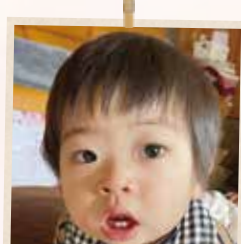
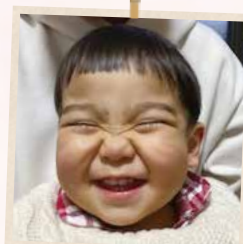


あさくらっこおめでとう

高松 美恋音ちゃん
令和3年2月11日生(甘木)井上 煌琉ちゃん
令和3年2月5日生(千手)石井 汰樹ちゃん
令和3年2月2日生(杷木久喜宮)立石 悠真ちゃん
令和3年2月10日生(馬田)松尾 悠来ちゃん
令和3年2月12日生(小田)平田 楓ちゃん
令和2年2月24日生(頼田)田中 玖之絹ちゃん
平成31年2月10日生(荷原)HAPPY
BIRTHDAY**申込期間** 3月生まれ(3月1日号)の申込は
2月8日(火)まで**申込条件** 満1〜3歳の子どもが対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子どもを優先して掲載します。**申込方法**▲こちらから
簡単申込

- ①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先
(保護者氏名)を明記。送信後、市人事秘書課(☎22-1117/平日8時
30分〜17時15分)へ電話してください。
- ②来庁 写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所
市民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。

あさくら
子育てサポーター
養成講座▲前向き子育て
プログラムにつ
いてはこちらから前向き子育てプログラムの普及啓発のため、プログラムを学び、
「子育てサポーター」として地域で子育て支援活動に携わる人向け
の講座を開催します。

■日時…2月14日・21日・28日(月)10時〜16時

■場所…旧寿楽荘(堤1413)

■定員…10人程度 ■申込期限…2月10日(木)

問 申 市子ども未来課(☎28-7568)

■講師…江上千代美さん
(福岡県立大学教授)前向き
子育て
定期便▲前向き子
育て定期便
はこちらから皆さんの子育てが少しでも楽しくなるように子育て力アップを支援する「前向き子育て
応援」。誰だって子育て中は迷い悩みます。「なぜ? 片づけられない?」「なぜ? 食べない?」
「なぜ? 下の子に意地悪する?」そんな日常の「なぜ? なぜ?」に、前向き子育てで「なるほど、そういうこと」と小さ
なスッキリ。前向き子育てプログラムの具体的な内容を定期的にお届けしていきます。

問 申 市子ども未来課(☎28-7568)

困った子どもの行動の例〜片付けをしてくれない〜

今回は、子どもが片付けをしてくれないという、子育て中に遭遇する困った子どもの行動にスポットをあて
ます。このような問題に対し、どのように対処したらいいのでしょうか?基本的な生活習慣を着実に身に付けていくために、まずは、子どものできている行動と、まだ身に付けていない行動を確認
してみましょう。まずはできていることに注目し、具体的に褒め、良い手本を見せることが前向き子育てのコツです。また、
子どもに対して、昨日は「片付けをしなくていいから早くお風呂に入りましょう」と言い、今日は「お風呂に入る前に片付けを
しなさい」と注意をするなど、親の一貫しない態度は子どもを混乱させる原因にもなります。

■新型コロナウイルスの感染状況により、掲載内容は変更・中止もありえますので、必ず事前にご確認ください。

今月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日8時30分〜17時
《杷木支所》10日(木)9時30分〜11時30分■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど◀「親子健康
カレンダー」
に年間予定
も掲載

子育て応援プログラム

※場所の記載がないものは、ピーポート甘木保健福祉センター
です。参加時には、母子健康手帳が必要です。

マタニティクラス(母親学級)

産後の過ごし方、母乳哺育について。

■日時…8日(火)9時30分〜12時

※4日(金)までに要予約。先着5組。

■持ってくるもの…筆記具、動きやすい服装

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4〜6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。

■日時…24日(木)10時〜12時

※17日(木)までに要予約

■持ってくるもの…筆記具、エプロン

すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、トイレなど、気軽
にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。

■日時…16日(水)10時〜11時30分

■持ってくるもの…バスタオル1枚

※母乳相談の受付は11時まで。別途フェイスタオル3枚持参。

プレパパママクラス(両親学級)

沐浴、妊婦体験など。

■日時…20日(日)9時15分〜12時

※18日(金)までに要予約

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)

※4-10カ月児健診は市内小児科での個別健診を実施しています。
※新型コロナ感染症対策のため、密にならないように受付時間を
ずらして案内しますので、ご協力をお願いします。

【甘木朝倉地域の人】■場所…ピーポート甘木保健福祉センター

対象	日
1歳6カ月児(令和2年7月生)	2日(水)・3日(木)
3歳児(平成31年1月生)	3日(木)・4日(金)

■時間…12時45分〜

【杷木地域の人】■場所…男女共同参画センターあすみん

対象	日時
1歳6カ月児(令和2年7・8月生)	10日(木)13時〜
3歳児(平成31年1・2月生)	

問 申 市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、
わらべうたと一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。
※参加する場合は、検温・手指の消毒を館内で行うほか、マスク
の着用(2歳未満は不要)をお願いします。

【中央図書館】

おはなし会(幼児〜小学生向け)

■日時…毎週土・日曜日14時〜

ぴよぴよおはなし会(0〜2歳児向け)

■日時…9日・16日(水)11時30分〜

【あさくら図書館】

あかちゃんおはなし会(0〜1歳児向け)

■日時…5日(土)11時〜

みんなのおはなし会(幼児〜小学生向け)

■日時…12日・19日・26日(土)11時〜

おひさまおはなし会(幼児〜小学生向け)

■日時…23日(水・祝)15時〜

【はき図書館】

わくわくおはなし会(乳幼児向け)

■日時…22日(火)11時〜

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしていま
す。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

●子育てほっとサロン「つどいの広場」

(堤1413)(☎080-6439-1851)

●生い立つ地域子育て支援センター

(菩提寺606-1)(☎24-5203)

●ひろにわ地域子育て支援センター

(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

わが子の生きる力を育てる方法

■日時…25日(金)ひろにわ保育所 ホール

■時間…10時30分〜12時

■講師…辻田明さん

子どもが将来壁にぶつかっても、自分で考え自分の力で乗り越
えられるよう、子どものころにどのような経験をするのが大
切か。何事も前向きに捉えられる大人になれるよう、子どもが
“生きる力”を高めていけるような子育てのコツを教えます。家
族みんなでぜひご参加ください。

※託児もあります。



市民くらぶ

今月の1枚 #あさくらしいふ

朝倉東高生が株式会社設立 撮影場所:福岡法務局(令和4年1月撮影)



▲1月11日、朝倉東高校の生徒が株主になり、経営に携わる「株式会社 Easter Inc.」を設立しました。高校が株式会社を設立するのは県内初(全国では4例目)。会社の経営理念は「笑顔、創造、志」で、利益は小中学校への本の寄贈など地元還元する方針です。

あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

①Instagramで「#あさくらしいふ」と付けて投稿された写真

②メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など

※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。

※掲載する場合、ご連絡します。

▼申込はこちら



シリーズ 人権

人権課題解決と住民交流の拠点施設「隣保館」

「人権」とは、誰もが生まれながらに持っている人間らしく生きる権利のことです。

今、この「人権」が脅かされる事態が各地で起きています。部落差別をはじめ、いじめや虐待による子どもへの人権侵害、障がいのある人や女性に対する差別、新型コロナウイルス感染症を起因とする誹謗中傷など、その形態はさまざまです。

中でも「部落差別」は、日本社会の歴史の中で形成された身分制度により、経済的・社会的・文化的に厳しい状況におかれ、結婚や就職など、日常生活の中で基本的人権が侵害される、日本固有の人権問題にして、最も深刻な社会問題です。

国は、今なお部落差別が存在していることは、許されざる問題であり、その解決こそが、国および地方公共団体(県・市)の責務であるとして平成28年12月に「部落差別解消推進法」を制定しました。この法律では、相談体制や教育・啓発の充実を図り、差別の実態調査を行うことなどが明記されています。

朝倉市では、この法律をさらに推進するため、令和元年12月に「部落

差別をはじめあらゆる差別の解消を推進し人権を擁護する条例」を制定しました。

この条例は、差別解消の担い手(責務)を市民および事業所などにまで広げ、みんなで差別をなくしていこうとするものです。

人権課題解決の拠点施設のひとつが隣保館です。そこでは、福祉や就労などに関する相談業務のほか、地域住民の交流を深めるため健康体操などのデイサービスを行っています。

「甘木総合隣保館」では、年間を通してさまざまな人権問題の理解を深めてもらうためのパネル展、「杷木人権啓発センター」では、周辺地域との交流を目的に、夏祭り「夜隣祭」や地域交流講演会などを開催しています。

隣保館はすべての人に開かれた施設です。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

問 市人権・同和対策課(☎521-1774)



広報文芸

俳句 (矢野俊一選)

大平山登りきつたる初御空
美奈宜の杜 重松 眞

短日や用事一つが日をまたぎ
甘木 窪山 路子

補聴器も眼鏡も要らぬ去年今年
堤 柏木 勝利

川柳 (お題「道」) (益永克之選)

我が道は自力でチャンス切り開く
杷木久喜宮 佐藤 敬二

落葉道さくさく踏んでリズム取る
甘木 神宮司美和子

金刀比羅宮の山道を掃く清し
菩提寺 北原 妙子

ねんねこの中の赤子の夢見顔
甘木 仲山 尚山

くり返し読む師の手紙日向ぼこ
中原 矢野エイ子

鉄餅肌の消えて八十路や柚子の風呂
中島田 佐藤喜恵子

吾が名前道子とつけし両親想う
持丸 小宮 道子

あぜ道の草に混じった露のとう
入地 丸林美智子

地の人に会おう喜び道の駅
美奈宜の杜 宇都 信泰

【3月1日号は、広報文芸の年間優秀作品を発表】

昨年4月1日号以降に掲載された作品の中から、俳句と川柳のそれぞれ5句が年間優秀作品として選ばれます。

お楽しみに。



朝倉の魅力
見つける、つながる

地域おこし協力隊通信 vol.8

朝倉の映え写真は#VisitAsakura

皆さん、こんにちは！

私は普段、チュニジア出身のナヘド、香港出身のヘイ、カナダで働いていた明野と一緒に活動しています。国内外の外国人に朝倉の魅力伝えるべく、私たちが英語で情報発信している「Visit Asakura」ポータルサイト、フェイスブック、インスタグラムとありますので、外国人の知り合いがいる人は、ぜひご紹介をお願いします。また、フェイスブックとインスタグラムで朝倉のおもしろ写真や映え写真を投稿する際には「#VisitAsakura」とハッシュタグを付けて、一緒に朝倉のインバウンド観光を盛り上げてもらえると嬉しいです。

この他にも地域でのさまざまな活動に参加させてもらっており、昨年は、秋月盛上処で朝倉盛上隊と物販・観光案内

内のイベントをしたり、山田堰で新しいガイドの手法を学んだりしました。また、お隣うきは市の地域おこし協力隊との共同事業も行っています。その一環として、2月下旬に「地域おこし協力隊による、つながりたいマーケット」を開催することになりました。他の自治体の協力隊や事業者からも出店を募り、それぞれの地元の特産品を販売しますので、ぜひお立ち寄りください。

【地域おこし協力隊による、つながりたいマーケット】

▲詳細はこちらから

■日時 2月26日(土)～27日(日) 11～16時

■場所 《26日》朝倉市秋月博物館横交流広場 《27日》うきは市白壁交流広場

地域おこし協力隊の普段の活動は、市ホームページから見られます。



▲(上)秋月での物販イベント、(中)鶴飼の歴史を知る、(下)ボランティアガイドとインタープリテーションを学ぶ

朝倉市×アビスパ福岡 子どもから大人まで大はしゃぎ



12月12日、朝倉球場で健康づくり地域交流フェスタが開催されました。子どもから大人まで28人の参加者は4チームに分かれ、じゃんけんやボールを使ったゲームを行いました。アビスパ福岡のコーチの皆さんがイベントを盛り上げ、参加者は優勝を目指してチームで工夫をしながら、ゲームを楽しんでいました。

朝倉市とフレンドリータウン協定を締結しているアビスパ福岡は、昨年J1残留を決めました。今後もより多くの勝利をつかむことができるよう応援していきます。

子どもの健やかな成長を願う 「バタバタ」と奏でる福の音

1月4・5日、安長寺(甘木)で甘木バタバタ市が行われました。甘木バタバタ市は、疱瘡(天然痘)除けと子育て祈願などとして甘木に伝わる祭り。その起源は、1000年以上前の平安時代といわれています。境内では、子どもの健やかな成長と無病息災を祈願するお守り「豆太鼓バタバタ」が販売され、これを家に飾ると幸福が訪れるといわれています。

朝倉市指定無形文化財 大迫力！林流抱え大筒射ち納め



12月12日、冬の気配が漂う秋月で、「林流抱え大筒」が披露されました。この大筒は朝倉市の指定無形文化財で、秋月の保存会の皆さんにより継承されています。

静寂の中放たれた大筒は、地鳴りのするような轟音とともに一瞬で大きな火花を散らし、見る人たちを圧倒させました。令和3年の射ち納めとなったこの日、5連射でフィナーレを迎え、1年を締めくくりました。



▲(上)ゴールボールでのスローイングの瞬間(左下)池松さんが見守る中、ポッチャをプレー。白い目標球ジャックボールにどれだけ近づけることができるかが勝負です。(右下)生徒にパラリンピックについて語る川野さん(シーズアスリート所属)。

歴史を伝え未来へつなぐ 比良松中学校でスポーツの祭典

12月21日、後藤暢さん(比良松中第1回卒業生、ヘルシンキ五輪競泳銀メダル)の偉業をたたえた顕彰碑の除幕式が行われました。市長は「夢や目標をもち、その実現に向って着実にやり抜こうとする意志を養ってもらいたい」とあいさつ。顕彰碑は前庭に設置され、後藤さんの功績を後世へと伝えていきます。

また、12月23日には、東京オリパラムーブメント事業「パラスポーツ大会」が開催されました。アテネ・北京オリンピックに出場した池松和彦さん(レスリング)を招いての開会式後、生徒たちは3班に分かれ、ゴールボールやポッチャをプレー。学年を越えて励まし合いながら、得点を競うとともに、パラスポーツに込められた意義について考えました。スポーツ大会後は、ロンドン・リオパラリンピックに出場した川野将太さん(車いすテニス)による講演会も行われました。



古賀中学校の皆さんありがとうございました！ 修学旅行で災害ボランティア体験

12月20日、朝倉グリーンツーリズム協議会で、「災害ボランティア」を取り入れた修学旅行を受け入れました。

活動場所は、高木地区の黒川。訪れたのは、古賀市立古賀中学校の2年生約260人。スコップを手にした生徒たちは、平成29年7月九州北部豪雨で被災した農地に残る石などを取り除く作業を体験しました。同協議会では、農業体験などで受け入れを行っていましたが、今回、学校から「災害ボランティアをしたい」という要望を受け、実施。

「災害ボランティア」を取り入れた修学旅行の受け入れは初めてでした。生徒たちからは、「いいことができて良かった」「機会があればまたやりたい」という声が聞かれました。体験を通して、ボランティアの重要性や災害が身近にあることを学んだようです。



▲大きな石が出ると歓声が起きました



▲地域おこし協力隊の梅野さんも参加しました

子どもたちの食農・教育支援へ JAから小中学校へテントなどの寄贈

12月17日、JA筑前あさくらから市内の各小中学校へテントなどの寄贈がありました。ピーポート甘木を訪れた深町組合長は「子どもたちの食農・教育支援の取り組みとして、全小学生に手造りみそと博多万能ねぎを、また、各小中学校にテントを一張りずつ寄贈します」と話しました。



あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介する新シリーズ。

第4弾は、朝倉市に移住し、野菜の有機栽培に取り組む今泉夫妻を取材しました。

Interview

さちまる農園 今泉 早智さん
ともみ 朋美さん

早智さんは福岡市東区、朋美さんは糸島市の出身。2人ともアグリガーデンスクール&アカデミー福岡・朝倉校(朝倉農業高校跡地)で有機農法での野菜の栽培について学び、就農4年目。主に夏はミニトマト、冬はニンジン栽培。

大切な人に食べさせたい野菜作り

夫婦二人三脚で就農

もともとは2人とも会社員でしたが、仕事の疲れを癒すために家庭菜園をしていたこともあり、野菜や土と触れ合う機会が多かったです。その後、学生時代の友人の誘いからアグリガーデンを知り、そこで研修先の農家や住む場所まで紹介してもらい「覚悟を決めて農業をやろう」という決心ができました。2人が出会ったのもこのころで、農業への思いも通じるところがあり、すぐに意気投合しました。2年間の研修を経て独立。2人でさちまる農園を立ち上げました。

朝倉の地で育つニンジン

朝倉については何も知らなかったのですが、移住してまず人が温かいと感じました。小中学生が登下校のときにあいさつをしてくれたり、集落の人から「最近どげんね?」と気軽に声を掛けてくれたりと移住の不安はすぐに払拭されました。朝倉の雰囲気が合っているのか、子どもたちも穏やかに成長しています。朝倉にきて不便さはあまり感じず、苦労したところといえば冬の寒さくらいです。野菜は、2ヘクタールの畑で夏はミニトマト、冬はニンジンを栽培し、野菜狩り体験も行っています。

す。野菜はすべて有機栽培で育てていて、特にニンジンは評判も良く、「柿みたいに甘い」「ニンジン嫌いな子どももこれは食べられる」といったうれしい言葉も。有機栽培は多少時間がかかりますが、こういった声を励みに今後頑張っていきたいです。

また、このニンジンを使ったジュースも販売しています。「キズや割れて出荷できないおいしいニンジン」をどうにかできないか?」自ら駆け回り加工してくれる所を探しました。近年では全国各地で災害が発生し、ローリングストックも注目されているため、ニンジンの缶詰を取り入れられないか模索中です。

人が集う場所フリーハウス

今後の目標はブックカフェ、野菜の販売所、そしてゲストハウスなどを兼ねた施設を開業したいと考えています。自分たちはフリーハウスと呼んでいます。市内外から人が集まり交流できるような場所を朝倉に。「朝倉は何もない」という言葉を地元の人から聞くこともあります。朝倉の皆さんの支えでここまで来ることができました。今後も温かく見守っていただけたら幸いです。

▼ホームページはこちら



さちまる農園 問 今泉(☎ 070-4082-6599 徳洲 844-1)

広大な畑で育つニンジンが、甘くて飲みやすい
おいしいジュースになりました



大人から子どもまで好評のニンジンジュースは、三連水車の里あくら、ファームステーションバサロのほか、ホームページからも購入できます。

さちまる農園では、ニンジン狩り体験(2月末ごろまで)も受け入れています。ニンジンが土から抜ける爽快感は、やみつきになるかも。また、ミニトマト、ニンジン以外の野菜も有機農法での栽培に挑戦中です。

